

第13回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	全般について		本日は、「コアゾーン等整備検討懇話会」や「JR 新駅」、「駐輪場及びバス・タクシープールの配置」についてご報告させていただくとともに、「姫路駅北駅前広場実施設計のデザイン」についてご説明し、ご意見をいただきたい。
	姫路駅北駅前広場のデザインについて		姫路駅北駅前広場のデザインについては、基本のご説明した方向で進めたいと考えていますが、何かご意見はありますか。
眺望デッキについては、デザインが先行しているが、機能の観点から十分に検討がされていないのではないか。具体的には、中央コンコースの入口がデッキに隠れて駅の位置がわかりづらいことや、姫路の顔である中央コンコース前が暗くなることを改善してもらいたい。		眺望デッキについては、姫路らしさを演出するために、ゲート状の形を基本としながら、乗り換え利便性や視認性等について、今後十分に検討していきたい。	
		歩行者デッキは、安全かつ便利にバスなどに乗換えするための施設であり、初めて姫路を訪れた人がわかりやすく乗換えができるように工夫すべきである。 眺望デッキが、姫路城を見せるためだけの機能に特化しているならば、JR の土地に建ててもらいたくない。十分に改善できる余地があるので、機能を充足されるように工夫してもらいたい。	

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	姫路駅北駅前広場のデザインについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料6のp 31のパスについて、眺望デッキの東側の壁の奥には、新駅ビル階の交通広場があるが、壁があるために場所が分からない。</li> <li>・資料6のp 11のパスは、眺望デッキからキャスパ方面を見たものである。眺望デッキから歩行者デッキを通じてバス乗降場等へ繋がっていることが明確になっている必要があるが、どこに繋がっているのかがわからない。</li> <li>・資料6のp 40のパスは、キャスパ方面から歩行者デッキを通じて新駅ビルに繋がっている様子を表したものの。現在、2階レベルで眺望デッキからコアゾーンへ繋がる動線を検討しているが、新駅ビルを通じてコアゾーンへ繋がっている様子がわからない。</li> </ul>	
サンクンガーデンの上空に、新駅ビルから御幸通り方面へ通じる歩行者デッキが検討されているが、なぜ必要なのか分からない。		サンクンガーデンの上空に歩行者デッキの計画は無かったが、交通弱者に配慮すると、中央コンコースから御幸通りまでいくのに、より近いルートが必要であると考えます。	
サンクンガーデンの上空の歩行者デッキについて、デッキの厚さ、柱の位置、屋根の有無などの詳細がわからないが、サンクンガーデンに柱が作られるのは問題ではないか。		現在のところ、サンクンガーデンに歩行者デッキの柱は必要ないと考えている。また、歩行者デッキの厚さ等の詳細については、今後検討していきたい。	
サンクンガーデン上空の歩行者デッキについては、みゆき通りや新駅ビル等の地域の活性化、サンクンガーデンのデザイン、機能性などの調和が図られるように工夫する必要がある。			

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	姫路駅北駅前広場のデザインについて	地下街と新駅ビルの地下階との間には、約1mの段差があるが、どのように解消するのか。バリアフリーの観点からは、車椅子用の昇降機等を設置する必要があるのではないか。	サンクンガーデンにおける段差の解消については、今後、検討していきたい。
眺望デッキについては、この案を基本として、利便性、視認性、シンボル性及び新駅ビルとの調和の観点から、今後検討を進めていくのが良い。		詳細については、今後検討していく。	
新駅ビルや歩行者デッキ等については、統一されたデザインにしなければならない。新駅ビルのデザインは、駅前の景観にとっては非常に重要なので、早く提示してもらいたい。 ↓ 新駅ビルのデザインについては、設計業者が決まり、検討に着手したところである。デザインは、議論が発散し収拾がつかなくなる可能性があるため、この場で議論するものではないと考えており、デザインコンセプトを踏まえ検討した後、景観面を主として行政である姫路市と協議し、この場では、姫路市と調整したものを披露させていただく。		新駅ビルのデザインについては、事前にJRと姫路市で調整していく。	

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	姫路駅北駅前広場のデザインについて	<p>中央コンコース前に水盤を配置すると、歩行者空間が狭くなるため、必要に応じて取り除くことができるように工夫すべきではないか。</p> <p>↓</p> <p>他都市では、水盤に水がないときは歩行空間として使えるものもあると聞くので、そのような工夫ができればよいのではないか。</p>	<p>水盤を取り外すことはできないが、水盤の両サイドには広い歩行者空間が確保されるので、通行の支障にはならない。水盤には姫路城が映し出されるので、姫路らしさを十分にアピールできると考えている。</p> <p>現在、管理や安全の点から検討している。</p>
		<p>水盤を作っても、水盤に姫路城が映し出されないと意味がないが、十分に検証しているのか。</p>	<p>現地で確認している。</p>
		<p>エントランスゾーンの東側のコアゾーンは、事業コンペを実施し、娯楽施設やシティホテルなどが誘致される可能性が高い。駅周辺の回遊性を高めるため、2階レベルで駅からコアゾーンにアクセスできるように、新駅ビル内に歩行者動線を検討してもらいたい。</p> <p>↓</p> <p>駅周辺の回遊性を確保する必要性は認識しているので、コアゾーンに繋がる歩行者動線を検討したい。</p>	
	その他について	<p>駅前広場のイメージが固まってきたので、今後は、姫路駅の周辺を含めた、自転車、歩行者、車等の交通のあり方について、交通対策協議会などで検討していく必要がある。</p>	<p>今後、駅の周辺の交通のあり方について、交通対策協議会の中で検討していく。</p>

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	その他 について	<p>大手前通りの地下駐車場の出口は、十二所前線のすぐ北側にあるが、十二所前線以南について一般車の通行を制限すると、地下駐車場から出た車のすべてが十二所前線を西へ右折しないといけないので、路面表示などを工夫する必要がある。</p>	